



社長のひとりごと…

わいわい倶楽部は、当社の大切なお客様の
ために、わたしたち藤本工務店のスタッフが
お伝えさせていただきますコミュニティー
誌です。

『 幸せの秘訣』

お二人のご婦人と出会い、この出会いが実に興味深かったので、ありのままに書いてみることにしました。

双子と思われるくらいによく似た姉妹で、お姉さんが76歳、妹さんが73歳で白髪で気品があり、育ちの良さがうかがえる。時にお姉さんは顔にシワが無く、若いころはとびきりの美人であったように思われるが、妹さんは年相応の顔立ちである。二人とも実家の近くにお嫁に行かれたそうで、お姉さんは会社を経営されている家に、いわゆる社長夫人である。妹さんも長年その会社に勤め、仲良くやってこられた。お姉さんは少し体が弱く、うつむき加減で、ものごとに消極的であり、いわゆるマイナス思考の人だ。一方、妹さんは積極的でほがらかでプラス思考である。家庭環境をお聞きすると、どちらもお長男と同居されている。妹さんのお長男は物まね芸人でテレビ出演されたこともあり、ネットで検索するとご本人がでられる。美川憲一の物まねが十八番のようだ。浮き沈みの激しい世界で、生活は安定せず、大変そうであるが、お孫さんにも恵まれ、つい先日もお孫さんが有名大学に合格されたことをすごく喜んでおられた。片や、お姉さんの方は、お長男は携帯電話ショップを5店舗も持った社長さんであるが、奥様が子宮ガンを患い摘出手術をされ、最近お長男にもガンが見つかりお困りになっている。ここまでがお聞きしたそのままの内容である。

このお二人を見て、幸せって何だろう？と考えてしまった。勿論、見た目や家庭環境で幸せか否かの判断を議論をするつもりはなく、ましてや、幸せはそれぞれ各自の心が決める事で、他人が抽象する事では無いのは十分に承知しているが、少なくとも対称的なお二人は私に幸せになる秘訣を教えてくれたように思う。どんな状況においても前向きに、明るく進む事が幸せを感じられる近道であり、楽しみもあれば苦しみや悲しみもつきまとう。ましてや、一生楽しんで通れるはずもないし、一生苦労して生きる事もない。すべては半分半分どちらも与えられた人生である。

最近年を重ねたせいだろうか、幸せになりたいと、もがき苦しんでいる最中が一番幸せな時ではないかと思うようになった。苦しみや悲しみに直面した時、家族の心が一つになる。ここに幸せになれる最大級のポイントがかくされているのではないだろうか？



ではまた、来月もお逢いしましょう。
今回も最後まで読んでいただき、

さっがし ございました!!

